

科学的介護情報システム【LIFE】について

目次

1. 科学的介護情報システム【LIFE】について
2. 導入方法
3. 科学的介護推進体制加算について
4. 個別機能訓練加算(Ⅱ)について

科学的介護、LIFEってなに？



自立支援・重度化防止の取り組みの推進

2021年度介護報酬改定において、科学的に効果が裏付けられた自立支援・重度化防止に資する質の高いサービス提供の推進を目的とし、LIFE を用いた厚生労働省へのデータ提出とフィードバックの活用による、PDCA サイクル・ケアの質の向上を図る取組を推進することとなりました。



LIFE (Long-term care Information system For Evidence) は日本語でいうと「科学的介護情報システム」です。

導入の最大の目的は「**経験と勘**」から「**エビデンスに基づいた介護(客観的結果に基づいた介護)**」を推進すること。

介護に関するさまざまなデータを収集し、それを分析してフィードバックすることで、介護の質の向上を図るのが大きな狙いです。

医療においては1990年代からエビデンス・ベースド・メディスンが浸透し、治療の標準化が進んできました。介護分野においては、現場レベルでは様々な経験、ノウハウが詰め込まれてきたと思いますが、やはり現場目線の主観的アプローチが大半で、エビデンスに基づくケアはまだまだ十分とはいえません。

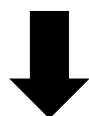
そこで、**介護にもエビデンスを導入し、全国どこでも質の高い介護(ケア)が受けられるように、介護の質の向上を目指す**のがLIFEの主な狙いになっています。

介護の新しいかたちと科学的介護とは

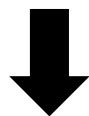
厚生労働省が推進しているもので、データベースを活用して介護を行うという介護の新たなかたちです。

科学的介護を推進することで、介護業界に不足していた情報を取り入れることが可能になり、より利用者が安心できるサービスを提供できるようになったり、スタッフの負担軽減にもつながったりと、さまざまなメリットを得られることが期待されています。

① 科学的裏付け(エビデンス)に基づいた介護の実施



② 科学的に妥当性のある指標等を現場から収集、蓄積し、分析



③ 分析の成果を現場にフィードバックし、更なる科学的介護を推進



2017年度

V
I
S
I
T

○ VISITの運用を開始

通所・介護リハビリテーション事業所から、リハビリテーションの情報収集を開始
2020年3月末時点で631事業所が参加

2018年度

C
H
A
S
E

○ 介護報酬においてVISITを評価

対象サービス: 通所・訪問リハビリテーション事業所
リハビリテーションに係るデータ収集・分析を開始

2020年度

○ CHASEの運用を開始

全ての介護サービスを対象として、高齢者の状態やケアの内容等の情報を収集開始
2020年10月末時点で2,999事業所にIDを発行
モデル事業で、提出データとフィードバックを試行的に実施し、アンケート・ヒアリングを通じて内容のブラッシュアップを実施。

2021年度

LIFE

○ VISITとCHASEを統合し、LIFEの運用を開始

令和3年度介護報酬改定において、新たな評価を創設
事業所単位に加えて、個人単位の分析結果をフィードバック予定
データの入力負担を低減
2021年3月末時点で約6万事業所にIDを発行

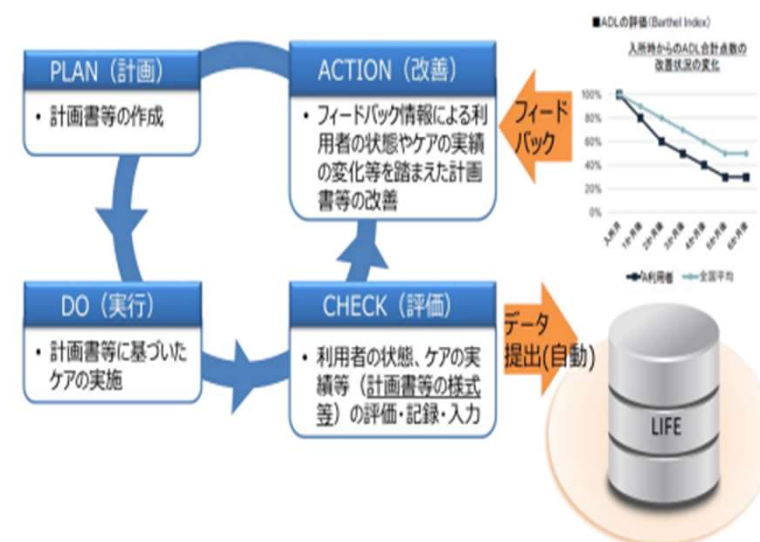
＜LIFEの活用により可能となること＞

利用者個人の単位で、個人が受けているケアの効果が十分か、自身にあった適切なケアが何か等についてフィードバックされることにより、個人の状態に応じたデータに基づく適切なケアを受けることができるようになる。

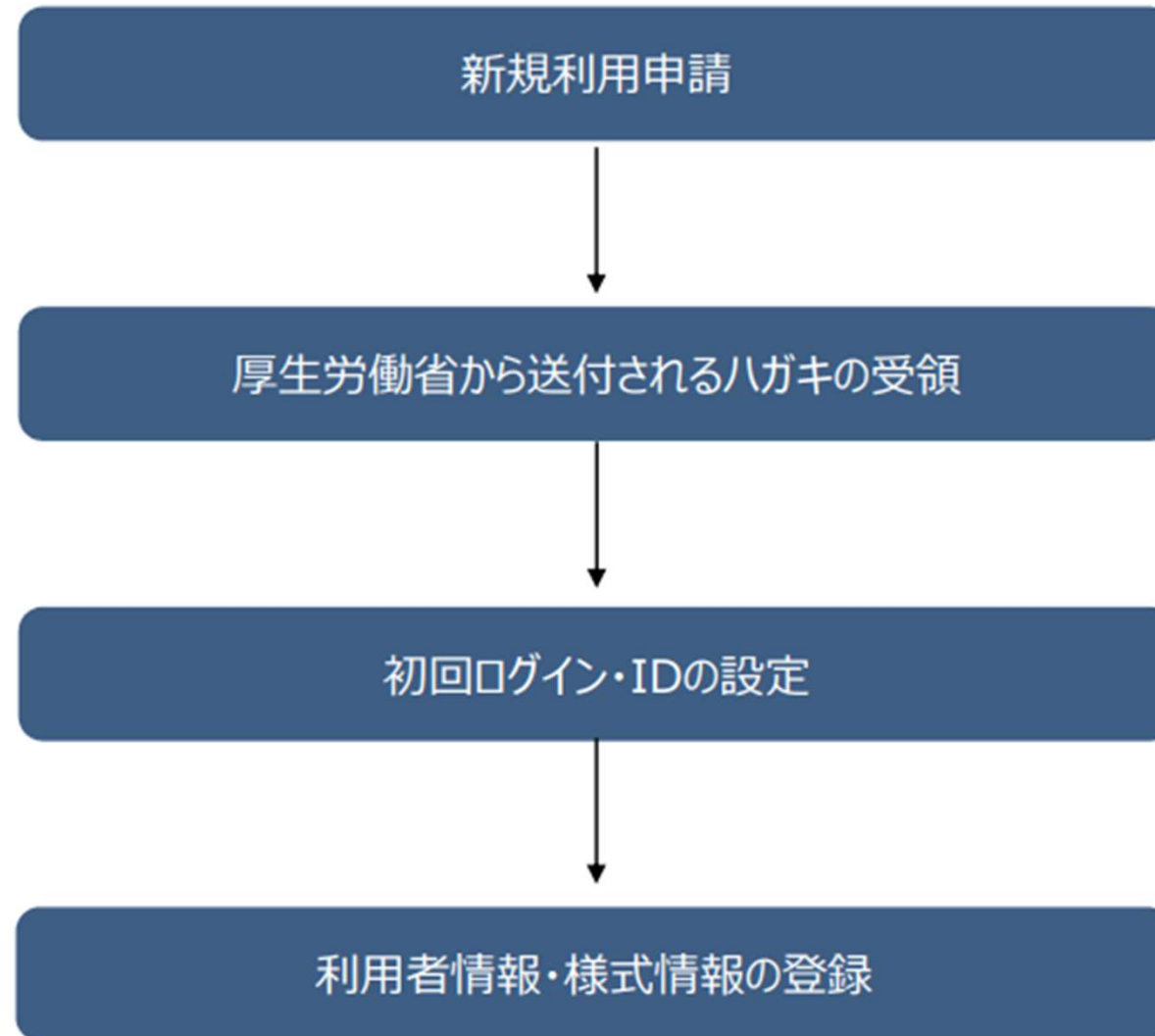
- 介護サービス利用者の状態や、介護施設・事業所で行っているケアの計画・内容などを一定の様式で入力すると、インターネットを通じて厚生労働省へ送信され、入力内容が分析されて、当該施設等にフィードバックされる情報
- 介護事業所においてPDCAサイクルを回すために活用するためのツール

LIFEにより収集・蓄積したデータの活用

- LIFEにより収集・蓄積したデータは、フィードバック情報としての活用に加えて、施策の効果や課題等の把握、見直しのための分析にも活用される。
- LIFEにデータが蓄積し、分析が進むことにより、エビデンスに基づいた質の高い介護の実施につながる。
- 今後、データの集積に伴い、事業所単位、利用者単位のフィードバックを順次行う予定である。



1. 全国で統一された仕組みで介護におけるビッグデータが取得できる。
2. 厚生労働省からのフィードバックによりケアの質の向上につながる。
3. 計画・評価・実行のPDCAを効果的に実行できる
4. データ提出やフィードバックを活用することで得られる加算がある



LIFEの基本的な利用の流れ



Microsoft Edgeへ移行のお願い
2022年6月16日をもってInternet Explorer11のサポートが終了となり
数か月後に完全に使用できなくなる可能性があります。
Microsoft Edgeへの早期移行をお願いします。詳細はお知らせをご確認ください

LIFE
科学的介護情報システム

「問い合わせフォーム」再開のお知らせ
お問い合わせのある方は、本画面右上の「お問い合わせの方へ」を押下し、
最初に出てきた画面の右下の「問い合わせフォーム」を押下してください。
パスワードを忘れた方は、本画面右上の「パスワードを忘れた方へ」を押下してください。

VISITをご利用されていた方
アカウント引継ぎ
専用の起動アイコン(exe)でシステムを起動する必要があります

登録済みの方
ログイン
専用の起動アイコン(exe)でシステムを起動する必要があります

初めてご利用される方
新規登録

2022/06/13

※Microsoft Edgeへ移行のお願い※

いつもLIFEシステムにご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

Microsoft 社より2022年6月16日をもって Internet Explorer 11のサポートが終了となることが告知されております。

今回のサポート終了に伴い、LIFEをご利用できるWebブラウザはMicrosoft Edgeのみとさせていただきます。またInternet Explorer 11利用に関するLIFEシステムの不具合については今後対応致しかねますのでご了承ください。

現在Internet Explorer 11でLIFEをご利用の方で**使用ブラウザをMicrosoft Edgeに変更する場合は、切り換える前にバックアップファイルの取得等の操作が必要**となります。必ず「操作説明書 Microsoft Edge 移行編（右上の「操作マニュアル等」からダウンロードいただけます。）」をご一読の上、操作をお願い致します。

特に、Edgeに変更した後は、必ず、バックアップファイルをインポートするようお願いいたします。暗号化キーの再設定してしまうとヘルプデスクでの手続きが必要となり、お時間がかかりますので、ご留意いただけますと幸いです。

※初めてLIFEをご利用いただく方で、最初からブラウザをMicrosoft Edgeをお使いの方はそのままご利用いただけます。

LIFEの基本的な利用の流れ



新規利用登録は毎月25日締めです。翌月の初めまでに利用案内をFAXにて通知します。



初めてご利用になる方は、下のボタンから新規利用登録をおこなってください。

新規利用

新規利用をクリックし
新規利用申請を行います

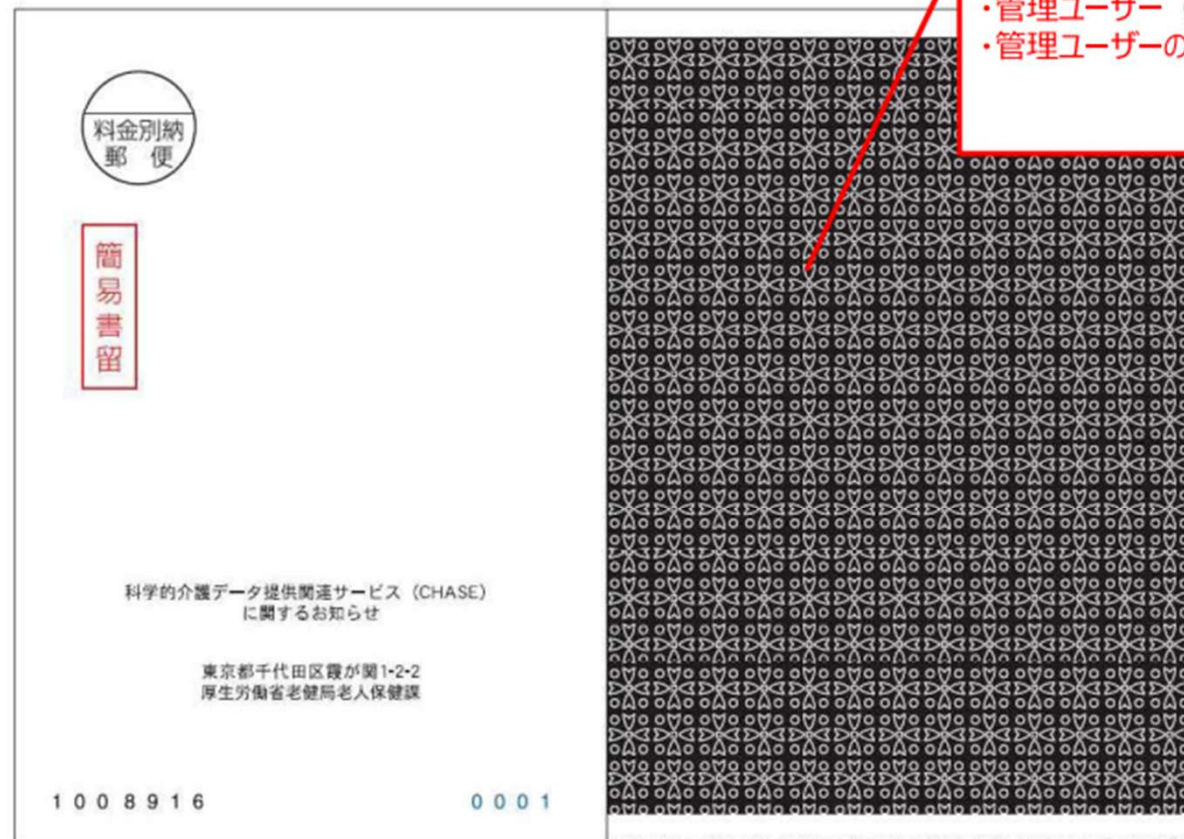
事業所番号を入力し、「参照」ボタンを押下してください。

事業所番号

参照

10文字の半角数字又は半角英字（大文字）で入力してください。

ハガキのイメージ



利用開始に必要な以下情報が記載されています。

- ・「起動アイコン」のダウンロード用URLと、ダウンロードに時必要となるパスワード等の情報
- ・管理ユーザー（※）のID
- ・管理ユーザーの初期パスワード

LIFEの活用が要件として含まれる加算一覧



	科学的介護 推進加算 (Ⅰ) 科学的介護 推進加算 (Ⅱ)	個別機能訓 練加算(Ⅱ)	ADL維持等 加算(Ⅰ) ADL維持等 加算(Ⅱ)	リハビリテー ションマネジ メント計画書 情報加算	理学療法、 作業療法及 び言語聴覚 療法に係る 加算	褥瘡マネジ メント加算 (Ⅰ) 褥瘡マネジ メント加算 (Ⅱ)	褥瘡対策指 導管理(Ⅱ)	排せつ支援 加算(Ⅰ) 排せつ支援 加算(Ⅱ) 排せつ支援 加算(Ⅲ)	自立支援促 進加算	かかりつけ 医連携薬剤 調整加算	薬剤管理指 導	栄養マネジ メント強化加 算	口腔衛生管 理加算(Ⅱ)
介護老人福祉施設	○	○	○			○		○	○			○	○
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	○	○	○			○		○	○			○	○
介護老人保健施設	○			○		○		○	○	○		○	○
介護医療院	○				○		○	○	○		○	○	○

	科学的介護推進 加算	個別機能訓練加 算(Ⅱ)	ADL維持等加算 (Ⅰ) ADL維持等加算 (Ⅱ)	リハビリテーシ ョンマネジメン ト加算(A)口 リハビリテーシ ョンマネジメン ト加算(B)口	褥瘡マネジメン ト加算(Ⅰ) 褥瘡マネジメン ト加算(Ⅱ)	排せつ支援加算 (Ⅰ) 排せつ支援加算 (Ⅱ) 排せつ支援加算 (Ⅲ)	栄養アセスメン ト加算	口腔機能向上加 算(Ⅱ)
通所介護	○	○	○				○	○
地域密着型通所介護	○	○	○				○	○
認知症対応型通所介護(予防含む)	○	○	○ (予防を除く)				○	○
特定施設入居者生活介護(予防含む)	○	○	○ (予防を除く)					
地域密着型特定施設入居者生活介護	○	○	○					
認知症対応型共同生活介護(予防を含む)	○							
小規模多機能型居宅介護(予防含む)	○							
看護小規模多機能型居宅介護	○				○	○	○	○
通所リハビリテーション(予防含む)	○			○ (予防を除く)			○	○
訪問リハビリテーション				○ (予防を除く)				

科学的推進体制加算の算定要件は以下の2点

1. LIFEへのデータ提出

2. LIFEフィードバック機能の活用によるPDCAサイクルの推進・ケアの向上を図ること

科学的介護推進体制加算

単位数	40単位 / 月
算定要件	利用者ごとのADL値、栄養状態、口腔機能、認知症の状況、その他の心身の状況等の係る基本的な情報をLIFEに登録 サービスを適切かつ有効に提供するために、必要に応じてサービス計画を見直すなど(イ)に規定する情報等を活用していること。(PDCAサイクルの運用)

- ・介護サービスを利用した要介護者に関するデータを、サービス提供月の翌10日までにLIFEへデータ提出
- ・全ての利用者の基本的な情報をLIFEから厚生労働省に提出することです。具体的には、利用者ごとの以下のような内容を提出します。

個別機能訓練加算(Ⅱ)の算定要件



個別機能訓練加算(Ⅱ)の算定要件



2021年の介護報酬改定における「LIFE」関連加算をどうとらえるのが重要になります。

2021年度改正では、科学的な裏付けを取るためのデータを大量に集める必要があるため、事業所に「LIFE」関連加算に取り組んで頂くことを第一目的としています。

データを集めることが主目的の3年間と捉えて下さい。

今後の介護業界において、LIFEの導入は必須となることが予想されています。